

令和7年度 大麻まちづくりセンターの主な取組

事業名

人と人とのつながりからうまれてくるもの
～納涼のタベ～(大麻地区まちづくり推進委員会との連携)

P

●事業実施に至った背景、目的

大麻地区の良さや魅力を多くの方に知っていただき、関係人口を増やしていくことにより次のステップに繋げる。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打合せ等)

○センターと大麻地区まちづくり推進委員会の連携による合同委員会を開催。

・令和7年7月4日開催、FUN 田中夫妻も参加。

○JR 西日本、電話により駅舎及び電源の使用を依頼する。

○道の駅ゆうひパーク三隅、訪問により出店を依頼する。

D

●事業の概要

○「大麻地区婦人会」「FUN」「道の駅ゆうひパーク三隅」：飲食販売・ヨシタケコーヒー販売

○「大麻地区まちづくり推進委員会」：ピザ窯によるピザ焼き体験

○「ホクレアファイブ、夢ミズキ」：サンセットライブ（音楽コンサート）

○納涼のタベ(灯籠の点灯・ミニ花火)

【新しい企画】地域住民によるハンドメイドショップ

【復活した企画】帰ってきたスリッパ飛ばし大会

【新たな出店】ゆっきんパウンド(パウンドケーキ)

C

●事業実施後の振り返り

昨年は折居駅 100 周年記念イベントとして、まちづくり総合交付金課題解決特別事業を活用して実施した。今年度は事業の活用はなく、事業規模を縮小し継続する予定とされていたが、地域の方によるハンドメイドショップ出店、若手ボランティアの参加、ゆっきんパウンドの出店、スリッパ飛ばし大会などより充実した内容になった。

改めて、地域の方のみならず、地域に何らかの形で関わる人たちとの、日々の生活の中で「そのつながりをいかに大切にしていくか」が重要であると感じる。

A

●今後の方向性

1 年前は、移住者の受入れ態勢整備に重点を置いていたが、今は大麻地区の良さや魅力をさらに多くの方に知って頂き、関係人口を増やしていくことが次のステップに繋がっていくものと期待している。

また、当事業に大学生ボランティアを募集し若者目線の企画・意見を取り込み今までと少し違った納涼のタベにチャレンジしてみたい。

